



ふたまたせ



【学校ホームページのQRコード】
随時更新中！

【めざす学校像】“ひたむきで、ぬくもりのある さわやかな 二俣瀬小学校”



令和6年度 後期学校評価アンケートのまとめ

保護者・地域の皆様には、後期学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。学校運営協議会委員・保護者・教職員・児童の評価結果を下記のとおり分析しました。来年度の学校運営に生かして参りたいと思います。今後とも学校の教育活動にご支援・ご協力いただきますとともに、学校の取組に対するご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。よろしくお願いいたします。

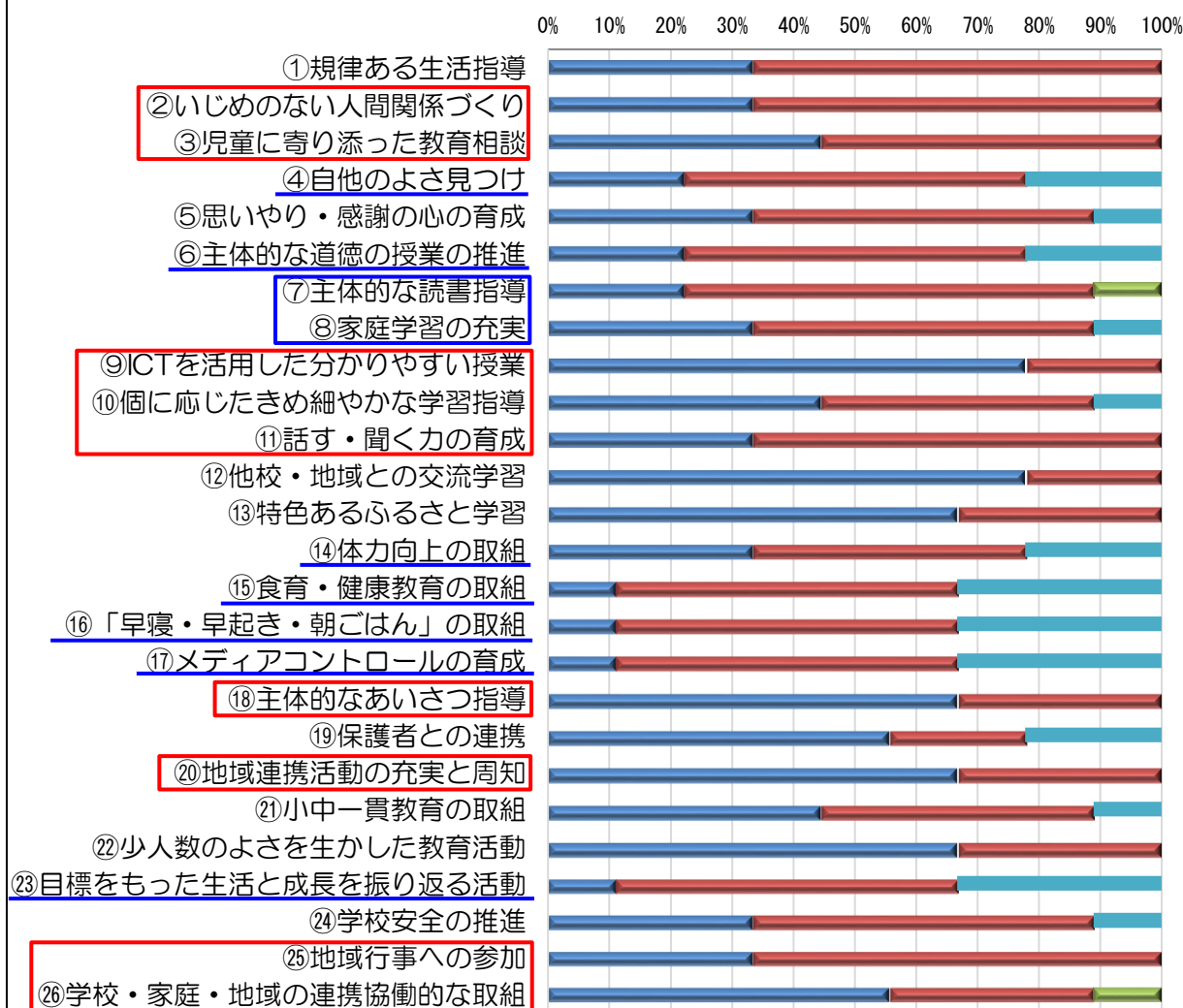
＜グラフの見方について＞

「5：あてはまる 4：だいたいあてはまる 3：あまりあてはまらない 2：あてはまらない 1：わからない」

※評価5及び4を「肯定的評価」、評価3及び2を「否定的評価」としています。

令和6年度 後期よりよい学校づくり評価（学校運営協議会委員9名）

■5 あてはまる ■4 だいたいあてはまる ■3 あまりあてはまらない ■2 あてはまらない ■1 わからない

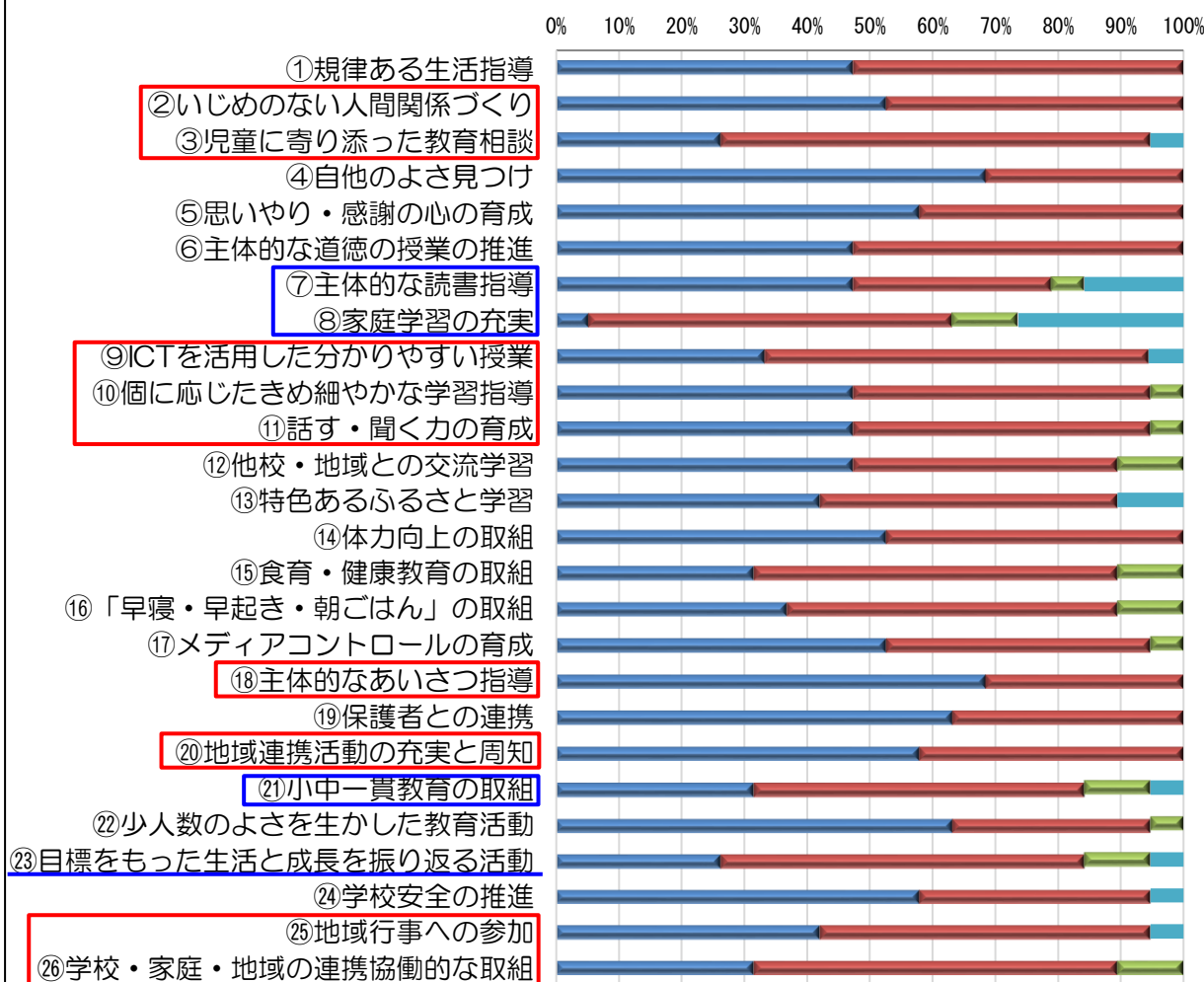


＜取組の成果が見られる評価結果（赤枠囲み）＞

- 「②いじめのない人間関係づくり」「③児童に寄り添った教育相談」について、地域の委員・保護者ともにほぼ100%の肯定的評価でした。全教職員で児童一人ひとりを見守り、丁寧に関わっている成果だと考えます。また、保護者・地域の皆様と児童に関する情報共有が密にできているからだと言えます。これからいじめ等の問題や教育相談には、迅速に丁寧に対応していきます。
- 「⑨ICTを活用した分かりやすい授業」「⑩個に応じたきめ細やかな学習指導」「⑪話す・聞く力の育成」については、両者ともに90～100%という肯定的評価でした。ICT機器を活用し視覚支援を重視した授業に加え、算数の自由進度学習にも挑戦しています。児童の課題である「話す・聞く力」の育成については、多様な場面で児童の発表・対話活動に取り組んでいます。そうした取組を保護者・地域の皆様に公開した成果と考えます。今後は、児童の学力に関する課題解決に向けて、家庭・地域との連携協働活動をさらに推進していきたいと思っています。
- 「⑱主体的なあいさつ指導」については、両者とも100%の肯定的評価でした。保護者・地域の皆様の児童への関わりに感謝いたします。しかし、児童自ら進んでのあいさつは、まだまだ十分とは言えない状況です。さわやかなあいさつが誰にでもできるよう、さらに働きかけていきたいと思っています。
- 「㉒地域連携活動の充実と周知」「㉕地域行事への参加」「㉖学校・家庭・地域の連携協働的な取組」については、90%以上の肯定的評価となり、前期結果よりも大きく数値がアップしました。本校の地域連携活動に関する趣旨へのご理解と活動へのご協力によるものと言えます。また、保護者の皆様には、児童の地域行事への積極的な参加を促していただき、ありがとうございます。今後は児童の主体性を発揮できる地域連携活動・地域行事にしていきたいと考えます。学校だけでなく、家庭・地域からの新たな取組へのご提案にも期待しています。

令和6年度 後期よりよい学校づくり評価（保護者19名）

■5 あてはまる ■4 だいたいあてはまる ■3 あまりあてはまらない ■2 あてはまらない ■1 わからない



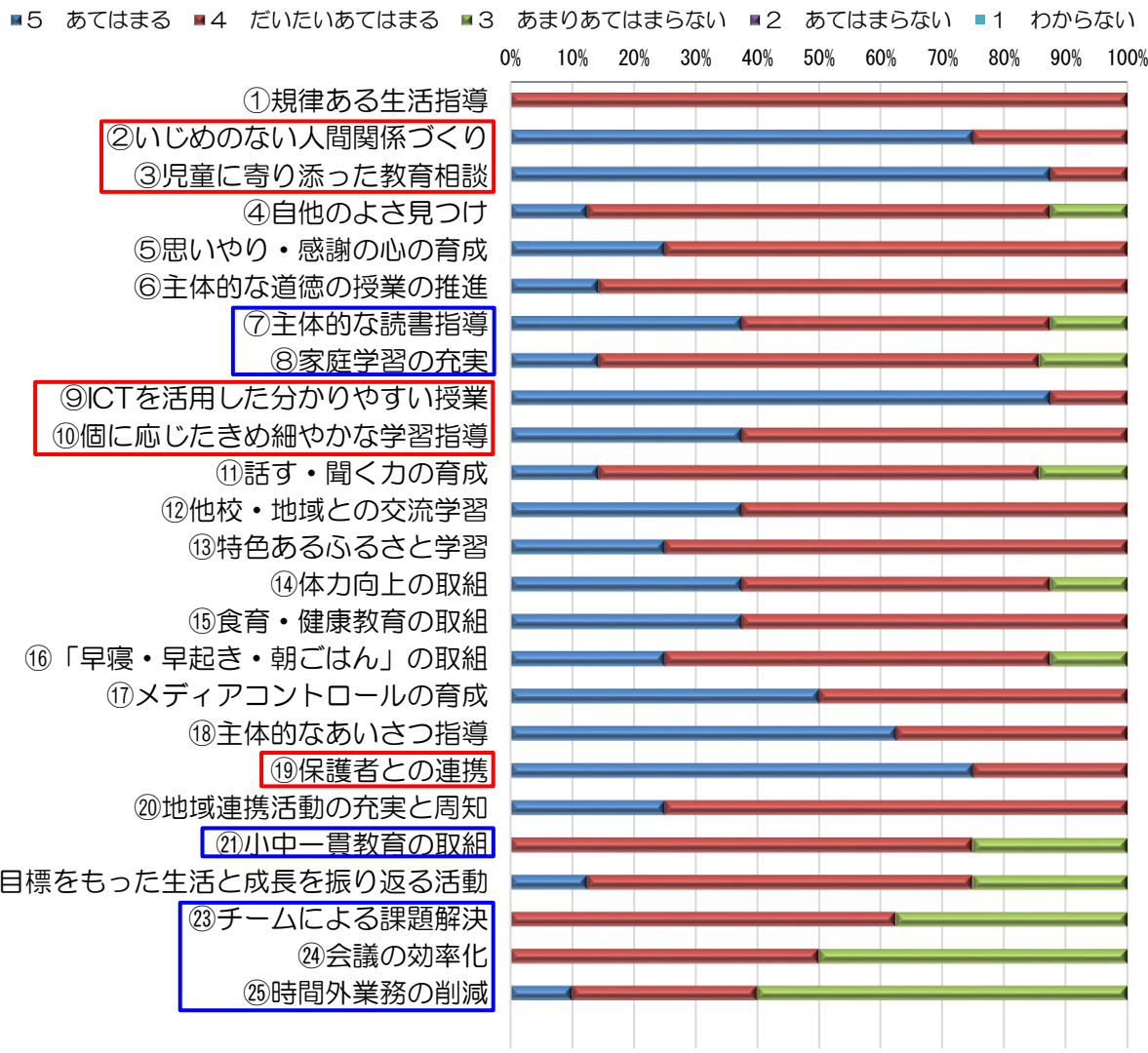
＜取組の課題が見られる評価結果（青枠囲み）＞

- 「⑦主体的な読書指導」については10～20%程度が否定的評価でした。学校では、担任以外にも学校司書による読書指導・図書環境整備を、読書ボランティアによる読み聞かせ・読書会を行い、児童が自ら本に親しむ取組を行っています。今後、ご家庭でも親子読書等への取組をお勧めいたします。
- 「⑧家庭学習の充実」については「わからない」も含め、10～35%程度が否定的評価でした。学校として、家庭学習の目的や内容、方法について児童の声にも耳を傾けながら改善していく必要性を感じています。ご家庭では、家庭学習の約束の徹底や確認等でご協力いただけますと助かります。
- 「㉑小中一貫教育の取組」については「わからない」も含め、保護者の15%程度が否定的評価でした。今後は「合同駅伝大会・交流会」以外にも具体的取組を実施する必要性を感じています。保護者・地域の皆様に見える形で小中連携・小小連携を進めることで、小中一貫教育の取組を周知し、ともに進めていきたいと考えています。

＜「わからない」の回答が多かった評価結果（青下線）＞

- 「④自他のよさ見つけ」「⑥主体的な道徳の授業の推進」「㉓目標をもった生活と成長を振り返る活動」については、今後、地域の皆様に道徳授業を公開したり、授業に参加してもらったりしたいと考えています。また、互いのよさ・二俣瀬の魅力や夢・成長の振り返りなどについて、ともに熟議する場を設定したいと思っています。
- 「⑭体力向上の取組」「⑮食育・健康教育の取組」「⑯早寝・早起き・朝ごはんの取組」「⑰メディアコントロールの育成」については、これから家庭・地域をより巻き込んだ取組の必要性を感じています。地域の教育力を活用させていただきながら、同じベクトルで学校教育と家庭教育とのつながりを深くしていきたいです。

令和6年度 後期よりよい学校づくり評価（教職員10名）



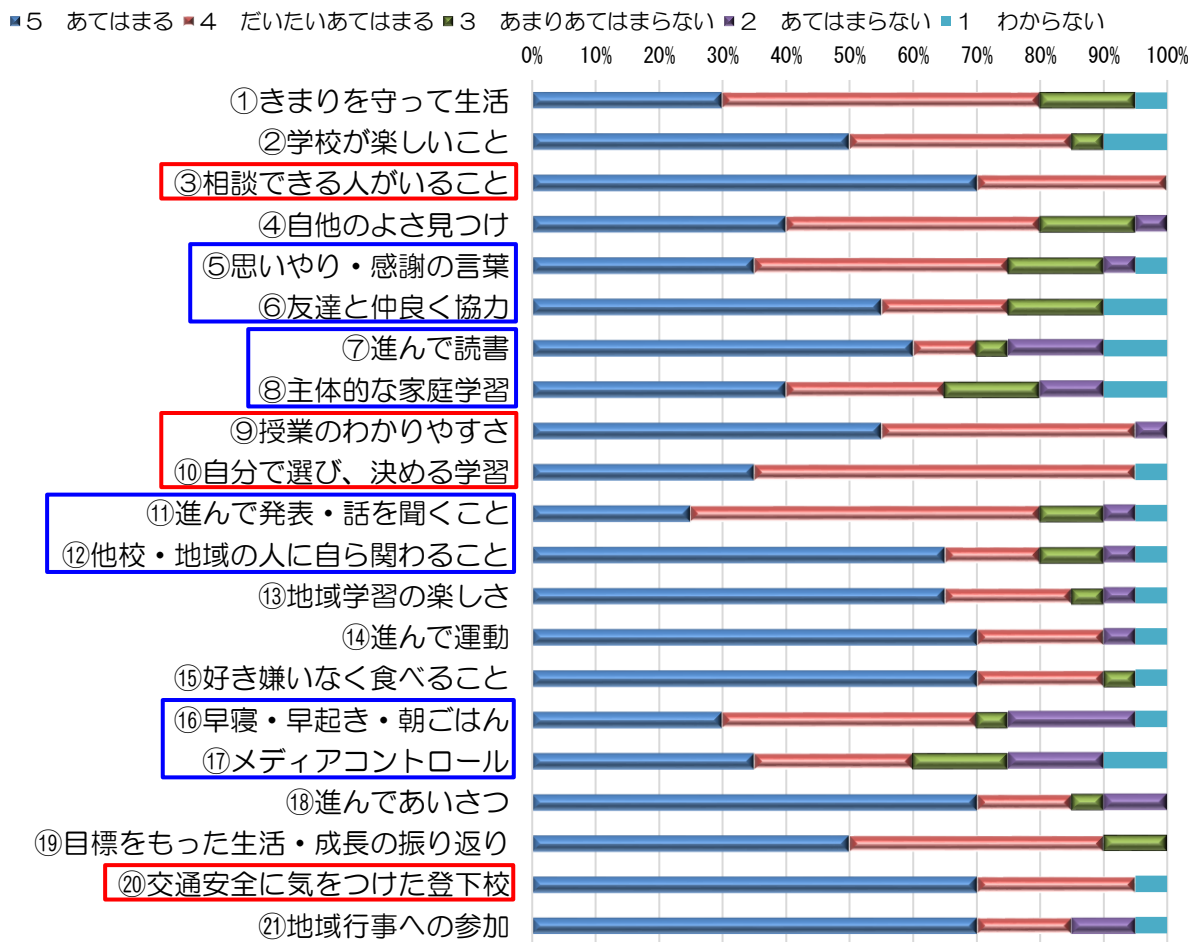
＜取組の成果が見られる評価結果（赤枠囲み）＞

- 教職員の「②いじめのない人間関係づくり」「③児童に寄り添った教育相談」に関する肯定的評価の高さに対応して、児童の「③相談できる人がいること」に関する肯定的評価が高い結果となっています。教職員の児童一人ひとりを大切にしたい関わりの成果が表れています。今後は児童の「②学校が楽しいこと」の肯定的評価が100%となるよう、いじめ対策・相談対応等について、家庭・地域と連携した取組をさらに推進していきます。
- 教職員の「⑨ICTを活用した分かりやすい授業」「⑩個に応じたきめ細かな学習指導」に関する肯定的評価の高さに対応して、児童の「⑨授業のわかりやすさ」「⑩自分で選び、決める学習」に関する肯定的評価が高い結果となりました。ICT活用と自由進度学習の成果が表れています。今後さらに、家庭・地域と連携しながら学び直しの時間を設定するなどして、誰一人取り残さない授業を展開していきます。
- 教職員の「⑲保護者との連携」に関する肯定的評価に対応して、前頁保護者の「⑲保護者との連携」に関する肯定的評価が高い結果となっています。これからも保護者の皆様と密に連携しながら児童に関する情報共有を図り、関わり方のつながりを大切にしたいと思います。
- 児童の「㉑交通安全に気をつけた登下校」についても高い肯定的評価となりました。地域の見守り隊の皆様の関わりに心より感謝いたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

＜取組の課題が見られる評価結果（青枠囲み）＞

- 児童の「⑤思いやり・感謝の言葉」「⑥友達と仲良く協力」について25%が否定的評価となり、前期結果と変わっていません。今後も粘り強く心の教育を進めるとともに、児童が主体となった「思いやり・感謝・協力」の輪を広げる児童会活動や児童と大人が学び合う地域道徳の取組等を行っていく予定です。
- 教職員の「⑦主体的な読書指導」「⑧家庭学習の充実」について約15%、児童の「⑦進んで読書」「⑧主体的な家庭学習」について約35%が否定的評価でした。読書活動は引き続き、学校司書や読書ボランティアと連携して児童が読書に親しむ活動を推進するとともに、今後、親子読書活動等にも取り組む予定です。家庭学習は、家庭や学童保育と連携しながら、実態に応じて児童が自らチャレンジする家庭学習を工夫していきます。
- 児童の「⑩進んで発表・話を聞くこと」「⑫他校・地域の人に自ら関わること」について約20%が否定的評価という結果でした。児童の「話す・聞く・話し合う能力の育成」は、本校の一番の課題です。その課題解決に向けて、これからさらに多様な人と関わり合う場が必要です。他校との遠隔授業や地域との交流学习、保育園・中学校とのふれあい活動などを、計画的・継続的に実施していきたいと思っています。
- 教職員の「㉑小中一貫教育の取組」「㉓チームによる課題解決」「㉔会議の効率化」「㉕時間外業務の削減」についても大きな課題があります。小中一貫の具体的取組については、これから小中で協議を重ねていきます。また、教職員の業務負担軽減に努め、児童と向き合う時間を確保するなど、学校における「働き方改革」をさらに推進していきます。
- 児童の「㉑早寝・早起き・朝ごはん」「㉒メディアコントロール能力の育成」については大きな課題があります。これら2つはどちらも、学校で学んだことを家庭で実践していかなければ改善できません。その点では保護者のご協力が不可欠と言えます。睡眠・朝ごはんの必要性、安全なメディアとの関わり方等については地域と連携しながら学校で学習します。保護者の皆様には、子育てのパートナーとして、家庭での約束の徹底や見守り・確認、励まし等をお願いし、しっかりと連携を図りたいと考えています。

令和6年度 後期よりよい学校づくり評価（児童20名）



＜自由記述「地域住民・保護者の皆様からのご意見・ご要望について」＞

- *「二俣瀬のよさ」を児童と保護者と地域が一緒になり、発信していきたいと思っています。
- *学校の図書室には、大人にとってもよい本がいっぱいあり、地域に曜日と時間を決めて開放してほしいです。図書室の一般開放は無理ですか？
- *大人の学び場・地域交流授業として、子どもと大人を交えた授業をやってみてはどうでしょうか？
- *少人数のよさを生かした教育活動を今後ともお願いします。
- *三校集合学習の回数を増やしてほしいです。修学旅行を3校で行くように戻してほしいです。
- *学習場面において、自分一人でじっくりと考える場を保障したり、苦手教科を強化する時間を設定したりしてほしいです。
- *結太鼓を全校でやるのはどうでしょうか？人数が少ないのだから、中・高学年による太鼓を全体指導にした方がよいと思います。
- *運動会の一輪車演技、は低学年には少し無理だったように思います。以前のように、ダンスと一輪車に分けた方がよいと思います。



今年度後期の二俣瀬小学校の教育活動について、前向きなご意見・ご要望をいただき、心より感謝申し上げます。上記のような皆様の声が出てくるからこそ、取組の検討・見直し・改善が図られていきます。二俣瀬の特色・よさを生かした教育活動を学校・家庭・地域のみなで考え、一緒にやってみること、小さな学校だからこそできることを家庭・地域と連携協働しながら取り組むこと、そのような視点をこれからの二俣瀬小では大切にしなければならないと感じています。「学校施設の地域開放」、「児童と大人がともに学ぶ授業」、「学び直しタイム」、「集合学習の充実」、「結太鼓の全校指導」、「一輪車演技のあり方」など、どれも改善の余地のある教育活動ばかりです。上記のご意見・ご要望については、今後、校内教職員で検討したり、育友会全委員会や学校運営協議会等の話題に挙げたりしていきます。よりよい学校づくりに向けた貴重なご意見・ご要望をありがとうございました。これからも保護者・地域の皆様からの学校に対するご意見・ご要望等はいつでも承りますので、お気軽にご相談ください。